

路地百選推薦書

推薦者氏名：

推薦する路地（のまち）の名称	小樽花園地区の路地群
所在地	北海道小樽市

【推薦する理由（路地のよいところ）】

小樽市の花園銀座商店街の山側、函館本線の囲まれた一带に迷路のような多くの路地があります。

2003年5月に小樽の花園町界隈の小路、横丁の名称を公募し発表しました。

「花間栄通り」「スパル通り」「嵐山通り」「幸花通り」「はしご通り」「宵待ち通り」「公園通り（啄木通り）」「寿司屋通り」「花園仲通り」の9通り、「小川小路」「潮銀座小路」「隠れが小路」「しだれ小路」「嵐山上小路」「嵐山中央小路」「嵐山仲店小路」「稲荷小路」「あかり小路」の9小路の名称が発表されました。

かつて路地を活用してまちおこしを行っていた団体がこの名称を公募し発表しましたが、今は存在しないそうです。

「忍者横丁」「ぬくもり横丁」「とんねる横丁」「夢見横丁」「スパル上横丁」「スパル下横丁」「稲荷横丁」「あかり横丁」8横丁、「嵐山新地」1新地ですが、通りの一部は以前から呼ばれていた名称で、今回の発表では総ての路地に名称がつけました。この花園界隈の散策は雪が降って道幅が狭くなり、足元が滑って大変だけど非常にスリルがあります。



上：宵待通り
下：嵐山中央小路
右上：隠れが小路
右：嵐山仲店小路





左上：はしご通り
 左下：嵐山仲店小路、
 中下：忍者横丁
 右上：潮銀座小路、右
 右中：スパル上横丁

路地のまちの概要	面積	約	h a	路地の延長	約	m
	まちの成り立ち、	<p>北海道小樽市は、明治後期から昭和初期にかけて、日本有数の港湾都市として発展した町で、別名「北のウォール街」と呼ばれ、かつて小樽が国際的な港湾都市として栄えていた頃に、大半の主要銀行が支店を開設していました。小樽を一躍有名にした運河や歴史的建物群は、その名残とってよいでしょう。歴史的建物群や町並みは、大戦で空襲に遭わなかったため、当事のまま1世紀近くを経た今日まで残りつづけ今では観光の目玉ともなっています。</p> <p>「小樽 花園」は、昭和初期から歓楽街として発展しました。この頃、金融機関や港町が大いにぎわっており、男たちの夜の社交場として、花園地区に次々と酒場ができ、遊郭も2カ所、映画館は10カ所ほどありました。まさに男たちの花園でしたが、時代がすぎた今でも昭和の香りを残す飲み屋街となっています。小樽っ子なら花園と聞いた瞬間「夜の街」とすぐわかるこの街には旨い飲み屋がいっぱいあります。小樽最大の飲み屋街と公共施設の並ぶ花園、海側の1・3丁目が飲み屋街、山側の2・4・5丁目が公共施設などの並ぶエリアです。</p>				

※路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。